



2025年10月1日

昭和ナースリー

看護師



ほけんだより 10月号

10月10日は 目の愛護デー



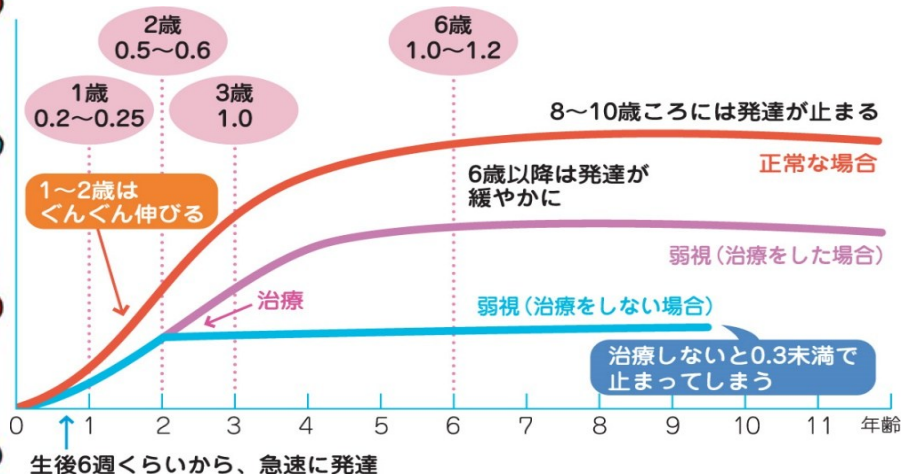
生まれたときは明暗を感じる程度の子どもの視力が、大人並みの1.0くらいになるのが、6歳ごろと言われています。子どもは視力に異常が生じてても、自分で症状を訴えることは難しいこと。気になる様子が見られたら、眼科を受診しましょう。

こんなときは心配です

- 目を細めて見る ● 片目で見える
- 顔を傾けて見る ● まぶしがる
- いつも涙ぐんでいる
- まぶたが下がっている



最近、幼児期からスマホやタブレットなどに触れる機会が多くなっています。長時間の使用は視力の低下や、瞬きの減少によりドライアイになったり、画面から出るブルーライトは目の疲れや痛みを引き起こしたりします。スマホやタブレットの使用は時間を決め、画面に近づきすぎないよう気をつけましょう！！



窓やベランダからの子どもの転落事故にご注意ください！

窓を開けて秋の風を感じる事が多くなってきました。

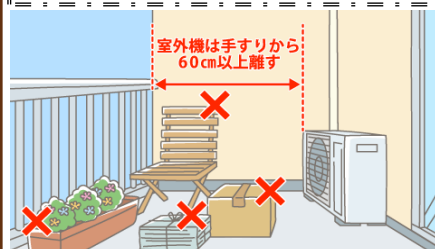
消費者庁の分析によると、窓を開けたり、ベランダに出る機会が増えたりする夏頃から子どもの転落事故が増加、また、窓が開いた部屋で子どもだけで遊んでいて発生する事例が多いようです。

- ① 窓を開けた部屋やベランダでは子どもだけで遊ばせない。
- ② 補助錠を付ける。
- ③ ベランダに台になる物を置かない。
- ④ 室内の窓の近くに物を置かない。
- ⑤ 窓枠や出窓に座って遊んだり、窓や網戸に寄りかかったりさせない。



昭和ナースリー9月の感染症報告

- アデノウイルス感染症 1名(ひよこ組)
- RSウイルス感染症 1名(ひよこ組)



10/15(水)に内科健診(全園児)がありますので、9:00までに登園してください。

10月からインフルエンザの予防接種が始まります！

インフルエンザの予防接種



予約方法や詳しい接種開始日などは、かかりつけ病院にお問い合わせください。

2回の接種が必要(生後6カ月から12歳以下)

小さな子どもは免疫がつきにくい為、2回の接種が必要です。効果を十分に上げるためには、1回目と2回目の接種の間隔は2~4週間あけるとよいと言われています。

効果が十分に出るのは2回目接種から約2週間

乳幼児は有効な免疫ができるのに2回目の接種から2週間かかります。

効果は約5カ月間持続する

インフルエンザの予防接種の効果は、約5カ月。10月から接種すれば、流行の始まりからしっかりカバーできます。